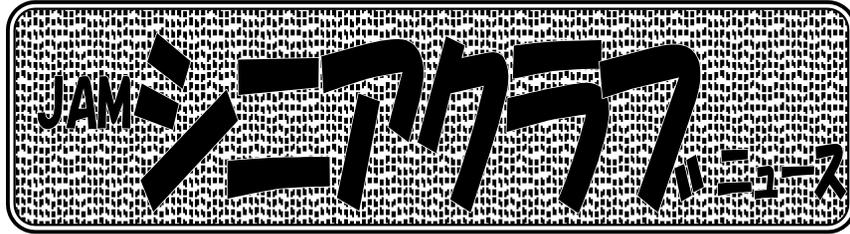


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第202号

発行日 2024年10月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部門 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

北海道

JAM北海道シニアクラブ結成

JAM北海道結成25周年に結成総会を開催

JAM北海道は、待望の北海道退職者の会（通称シニアクラブ）の結成総会



を9月28日にホテルポールスター札幌において開催し、全国32番目のシニアクラブとして誕生しました。結成総会は、冒頭に結成準備委員会を代表して、山本隆信委員長（ユニオン北海道理事長・元北海道内田鍛工労組）より、「諸先輩が何年も前から結成に向けた議論をしてきたが、なかなか結成に至らず、ようやく昨年のJAM北海道の定期大会でシニアクラブ結成の方針が確認され、以来準備

委員会を開催する中で、現役のJAM北海道結成25周年の年にあわせて結成することが出来た。今後は現役とも連携を深めながら一歩ずつ着実に組織の発展を目指していき「たい」と挨拶されました。引き続き、JAM北海道・島田暢如委員長とJAMシニアクラブ・田中久弥副会長から挨拶を受けたあと議事に入り、結成準備委員会報告、規約案、活動方針、役員選出を長田泰幸準備委員会事務局長（北海道書記長）からそれぞれ提案し、すべての議事が満場一致で承認されました。

大阪

定期総会を開催

事務局長 狩谷道生

大阪シニアクラブは、9月28日に第24回年次総会を近畿労働金庫本店・12階メインホールで開催。会員、役員、来賓、計46名が参加しました。

主催者挨拶で清水謙一代表幹事は、日本の退職者連合68万人に比べ、3600万人の全米退職者連盟がアメリカで大きな影響力を持っていることを紹介し、会員の拡大に対する決意がなされました。来賓挨拶でJAMシニアクラブ大山会長は、参議院の厚生労働委員会に組織内の



9月には立憲民主党の代表選挙と自民党の総裁選挙があり、特に自民党の総裁選挙では、国民に向けて耳障りの良い政策が並べられ、本間に国民のためを思っているかのように見えたが、自民党のための総裁選でしかなかった。総選挙の結果については触れられませんが、物価高の中で、私たち高齢者の生活は厳しい状況が続いています。

高齢退職者（シニアクラブ）の組織の現状と課題について、今更ながら考えてみた。連合の日本退職者連合は1991年11月に結成され33年が経過するが、会員数の減少に歯止めが掛か

主張



あり、70万人も大きく変わってきました。

京都シニア会長 木村正次

高齢退職者の組織化と問題点

組織から当面85万人を目標としています。地方組織、単組組織においても同様な状態にあると思われ。

私の所属する島津退職者組合協議会は1976年に発足をし結成から48年が経過します、当時の労働組合が企業組織とは異なった、労働組合主体の組織として発足をしています。この間の社会の変化は大きく、少子高齢化による国家財政から年金の支給繰り上げ年齢

の変化などがおこなわれ、働き方も大きく変わってきました。

このことが、退職者組織にとっても大きなダメージとなり、組織人員の減少が始まりJAMシニアクラブにおいても、2015年には8044名の会員が、2024年には、6552人と1500名の減員となっています。その大きな原因は京都シニアクラブにあり、2004年の会員数2650名が、2024年には1064人と激減し、年間平均で80名が減少し、JAMシニアクラブの会員数の減少に繋がっています。

会員数の減少に歯止めをかけた拡大を図ることが基本ですが、その大きな原因は会員の高齢化（平均年齢81歳）による逝去と新規加入者の減少にあり、定年延長と高齢就労の増加によって新規加入の在り方について現役労組と抜本的な連携が必要です。

「最低一人の参加を求める」ことを追求する。②地協OB会未組織地協における組織化の追求。③定年再雇用者を組合員・非組合員にかかわらずシニア組織加入を要請する。などの方針を提起しました。政策制度課題では、健康保険のマイナカードへの置き

5年夏の参議院比例代表選での「郡山りょう」の当選に向けた取組み強化を強く訴えました。

審議に入り狩谷事務局長より、2025年度活動計画を提案。「10%の会員拡大」に向け、前年度に引き続き、①単組シニア組織の結成、シニア会員のいない単組では、

「最低一人の参加を求める」ことを追求する。②地協OB会未組織地協における組織化の追求。③定年再雇用者を組合員・非組合員にかかわらずシニア組織加入を要請する。などの方針を提起しました。政策制度課題では、健康保険のマイナカードへの置き

〈裏面へ続く〉

〈表面より続く〉

換えに反対し、現行の健康保険証の廃止を撤回するよう引き続き求めていく。そして、2025年の参議院比例代表選挙において「郡山りよう」の必勝に向けて現役組織と連携した取り組みを全力で推し進めることを提起し、活動報告、決算報告、活動計画、予算などすべての議案を可決しました。

年次総会に先立ち、学習会を開催。奥山泰行顧問弁護士から、「ライフステージ後半で気をつけたいこと」と題する講義を受けました。奥山弁護士は、高齢期の暮らしを脅かすトラブルとして、様々な詐欺・悪徳商法被害者になるリスク、交通事故の被害者になるリスク、認知症と財産管理問題について説明され、さらに相続をめぐるトラブルについても「いいから、とにかく、遺言書を作って！」と強調されました。

京都 定期総会を開催

伊藤忠男 通信員

9月17日に京都労働者総合会館において2025年度の定期総会を開催。役員十三名・代議員32名が出席、来賓のJAMシニアクラブ大山会長、JAM京滋青山執行委員長のご挨拶、来年の参議院選挙組織内候補「郡山りよう」さんから「ものづくり産業の発



展と社会保障の充実実現」との力強いご挨拶をいただいた後、大会議長藤崎二郎さん（OBの会菊水）の議事進行で過年度経過・決算報告。新年度の活動方針・予算。役員の一部交代について審議しました。

主な活動方針としては、一、JAMシニアクラブの「四つの理念」「五つの活動指針」を前提に活動を進める。二、政策制度に関わって①物価高騰対策を求める②健康保険証の廃止の撤回③将来にわたって安心できる年金・医療・介護・認知症対策の確立。三、「郡山りよう」さんの当選を目指す応援活動。四、政策研究会の開催。五、衆議院解散総選挙に向け、私たちの政策を推進実現できる候補を応援。六、現役の協力も得ながら会員拡大に取り組む。七、会員交流のため囲碁・

将棋大会、グラウンドゴルフ大会を実施。以上が確認されました。

新潟 定期総会を開催

新潟シニアクラブは、9月30日に第23回定期総会を長岡市魚藤で開催。シニア11組織、現役3単組、計41名が参加しました。

冒頭、来賓のJAMシニアクラブ大野弘二事務局長より挨拶をいただき、参院選の取り組み、通常の活動に戻って来ている全国シニアクラブの状況を共有しました。今総会では、「郡山りよう」必勝決議が採択され、応援カードなどで会員への周知活動が開始されることとなりました。



参加者から「普段なかなか会えない、昔の組合の仲間に見えるのを毎年楽しみにしている」との声が聞かれました。

長野 定期総会を開催

10月2日（水）、岡谷市の太田屋中央通りメモリーにおいて、来賓・役員を含め31名の参加により長野シニアクラブの第24回総会を開催しました。

三井会長の挨拶では、「能登半島地震と先日の豪雨災害により再び被災された皆様には一日も早い復旧復興を望む。ウクライナ侵略戦争やイスラエルとパレスチナ紛争等により世界平和が脅かされている。欧米を含めた民主国家において軍拡の動きが加速し、日本においても防衛力強化の動きが加速しつつあり大変危険であると感じている。終戦後79年が経過し、戦争の記憶が風化しつつあるのではないかと非常に危惧をしている。

年金金額の切り下げや医療費負担増の改悪が継続されておき、高齢者を取り巻く環境は日々厳しさを増している。高齢者の声を国政に活かす取り組みの重要性は益々高まっている。来年の参議院選挙において、何としても組織内議員を輩出し、我々の声を国会に反映して



いくためにも、本日の総会において立憲民主党の「郡山りよう」応援カードの取り組みをスタートし、現役と連携しながら当選に向けた活動を展開する。」との発言がありました。

議案審議では「2025年度活動計画(案)」「予算(案)」「2025年参議院選挙候補予定者 郡山りよう 応援カード取組み」のすべてが全会一致で承認されました。

総会終了後の懇親会では、滝澤議長とTPRの小川さんによる歌が披露されるなど和気あいあいの雰囲気で大いに盛り上がりました。

また福祉カンパについては1万9793円の協力を頂きました。

個人署名のお願い

JAMシニアクラブは、中央労福協の「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」に賛同するオンラインによる団体署名と個人署名の活動を行っています。会員の皆様のご協力をお願いします。

アピール内容

1. すべての学生を対象に、大学、短大、高等専門学校（4年・5年）、専門学校の授業料を現在の半額にしてください。
2. 大学等修学支援制度の対象を多子世帯や理工農系に限定することなく年収600万円まで拡大するとともに、授業料減免額も拡大してください。
3. 奨学金返済に係る負担の軽減に向けて、貸与型を有利子から無利子へ、所得に応じた無理のない返済制度や返済困難な場合の救済制度を拡充してください。



オンライン署名のQRコードです

郡山りよう

◆郡山りよう3つの政策
「ものづくり」「中小」を基盤とした
くにつくり
公正で安心できる
価値を認めあう社会
働く者の権利を守る
ワークルール